

法学部出身者、受験経験者専用の講座です Windows XP/Vista/7対応

司法書士 ことし合格するために

完全e-Learning化記念セット価格 **77,800円/税込** 司法書士15,300問演習TLTソフト+難問答練10回+書式添削10回+科目別確認テスト各5回+総合確認模試5回
従来の合格保証版よりシステム、機能、学習内容、各テスト、スケジュールとも圧倒的に向上しています。

2011年度受験用・基礎からの在宅e-Learning 講座も開講しています。 セット価格**144,000円/税込**

確かな合格をめざして最速150時間 在宅講座・会員230名限定募集します

11000、合格に必要な15000問！

しっかり勉強したのに合格に届かなかった原因をよく分析してみると、結局は「必須論点」の問題演習が不足していたのです。

必須論点は、7120項目に絞られます。その全論点についての問題すべてに、即正答できるアウトプット力を身につけてしまうことが、合格を実現する条件なのです。

そして、それに必要な演習問題数は、15300問です。この必須論点に100%正答できるようにすれば、知識の点では本試験合格ラインは十分に超えています。難問題のために合格できないのではないのです。

全必須論点を理解しているつもりでも演習回数が不十分なら、長期間の勉強は徒労に。

TLTソフトは、全科目を65コースに分けて1コースずつ単問での知識確認を繰り返し、確実に習得していきます。1コースの習熟完了までの所要時間は、平均2時間です。

ちょうどコンピュータ付き「パッティング・マシーン」のように、あなたの不確かな論点問題をさまざまなタイミングで再演習し、ついには即正答のアウトプット力を身につけてしまいます。

まさに、あなた専用の、「最適・最速」ともいえる学習を実現するようにつくられたプログラムです。

知識は万全なのに、なぜか「合格点」に届かない「マンネリ」理由。

昨年の「午前の部」の試験では全35問中、5肢とも必須論点のみで構成されていた問題は24問。したがって、その1問でも失点すれば合格の可能性は、ほぼなくなってしまう。

それは記述式試験が採点される基準点が29問の正答だったからです。5肢のうち「2肢が切れない見かけ上の難問題」が7問ありました。7問中6問正答で合格のボーダーラインです。残り4問は「3肢以上切れない難問」でした。これらは、解かず捨てる決断力が必要です。

僅差で合格に達しない受験生は必須論点問題で1〜3問ミスをして「2肢が切れない問題」の大量失点に集中していると思われれます。

「見かけ上の難問題」の対策専用の「答練」が「合格」の決定打に！

午前の部で7問、午後の部で8問、これらは必須論点を習得していた人なら全問正答できる問題でした。

対策として「消去法」等によって慌てず、しっかりと正答できる実戦力をこの専用の「答練」を通じて身につけることができます。

2月よりインターネットを通じて実施します。1回の出題数は10問。制限時間は30分です。

実施日より本試験直前まで、いつでもどこでもネット環境があれば利用できます。これでは、これらの問題で失点することはなくなると考えられます。

「記述式」対策は、画期的な演習法と各5回の「書式添削」で70点満点中、50点以上！。

最後の壁は、「記述式」です。正答するには「問題」に対して、その「骨子」を抽出、それらを整理列記し、それぞれの骨子の「要旨」を記述することです。

したがって、その対策演習として「問題」に対応する「骨子」を正確に抽出列挙する演習が功を奏します。TLTソフトのすごところは、この全問題パターンを演習をわずかな時間で終了し、その要旨も「決まり文章」で身につけることができます。

さらに、本試験対策として不動産登記法も商業登記法も各5回、本番同様の「書式問題」を実施して、添削をすることがあります。

この「添削」を通じて実戦力がしっかり身につく、合格答案を記述できる自信がつけば、合格です。

科目別・合格点到達度「確認テスト」と午前の部、午後の部の合格点到達度「総合確認模試」で確認番号を取得して、本試験に臨みます。

下の「合格へのスケジュール表」のように、科目別確認テストで95点以上で、午前の部、午後の部の総合確認模試では、それぞれ90点以上で「合格点到達の確認番号」が取得できます。科目別確認テストの出題はTLTソフトで学習した中からのみの問題です。ふつうなら満点が取れるはずですが、こうして、「確認番号」を取得できた方なら合格への盤石の得点力があり、本試験ではアクシデントでもない限り、合格できるものと思えます。

本在宅講座について

- 1. 対象者** 司法書士受験科目の学習が終了している方。なお、不動産登記法や商業登記法あるいは商法・会社法のうち2科目以上未習熟の場合、下表のスケジュールより約200時間多く時間を必要とします。
e-Learningで15300問習熟、科目別テスト、難問答練、総合模試等を実施しますから、インターネット環境がある方。
- 2. TLTソフトとは** 学習とは「学んだこと」を練習によって「習得、身に付けてしまうこと」です。TLTは、Testing、Learning、Trainingの頭文字をとったものです。それは学習者個別の「最適習熟」を可能にするために開発され、コンピュータによる学習システムとして日米両国の特許を取得し、「商標登録」としたものです。
Testingで、習得済みか未習熟かを全事項、全問題について選り分け、未習熟と判定された事項や問題についてのみLearningで習得し、100%即正答できるようになるまでさまざまな方法でTrainingして、完全習熟を実現します。

- 3. ニュートンのe-Learningは、ベンリ、カンタン、快適!** 当社比較でCD-ROMのようにインストールの必要はなく、また、どのパソコンからも「続き」からの学習ができます。機能的にもグンと向上し、さまざまな有効機能が追加されています。
2年間、いつでも自分のソフトとしてご利用いただけます。また毎年、法改正版のTLTソフトも追加料金でご利用になれます。
- 4. e-Learningでの学習方法はカンタンです。**
お申込になると、ID・パスワード、説明書類等を宅配便でお届けします。記載のログイン画面にアクセスし、ID・パスワードを入力すれば、その場で学習にはいれます。学習の途中で終了しても、いつでもその続きから学習を進めることができます。各コースは20ステップで構成され、各ステップで100%習得されればつぎのステップに進む仕組みで全ステップを完全習熟します。そして、最初Testingで未修得となった事項や問題はいつでもそれらを集中的に復習できるように「別ファイル」に集約されます。この仕組みが合格を確実にする強力な駄目押し学習になります。

e-Learningだから、そしてTLTトソフトだから、膨大な演習を驚異的なスピードで!

各コースとも20のステップに分けて1ステップずつ、トレーニングを徹底的に繰り返し完全習熟していきます。1ステップでは、10~12論点に対するトレーニングです。出題順位をシャッフルして画面上での試験を2回します。2回とも正答した問題は「できる問題」と見なし合格とします。さらにシャッフルされて出題が繰り返され、全10問が連続正答することによって、そのステップが終了です。1ステップ5~8分程度です。
また、不正解だった問題は、下の図のように、B列のニガテ1に蓄積されます。A列が完全に終了するとあなたのニガテ問題で構成されているB列をA列と同じように演習します。ここでも不正解となった問題はC列に送られ、さらに苦手の問題が集約されます。こうして全科目65コースを終了し、本試験が迫ったとき、「自分がニガテとする問題や間違えやすい項目」が整理され、そこだけに集中して受験勉強に集中できれば、受験生にとってどんなにすばらしいことか理解できると思えます。

民法総則	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	合計	
初回	A	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	200
ニガテ1	B	6	5	4	5	6	3	4	2	3	3	6	4	5	5	4	6	5	7	6	4	93
ニガテ2	C	2	2	2	3	3	0															12

習熟完了番号 ニガテB,Cまで終了すればあなた固有の番号を表示

受験直前に、誰もが望む最も効率的な自分自身の弱点集中学習を可能にした左のTLT習熟のシステムが合格に驚異的な機能を発揮する。

今年合格を決める万全な150時間スケジュール

科目	コース数	習熟問題数	補充問題数	時間	科目別確認テスト	だめ押しの答練、添削	総合・合格点確認模試
★民法・総則	3	544問	149問	5時間			
★民法・物権	3	513問	143問	5時間	→	1 2 3 4 5	
★民法・担保物権	4	722問	163問	6時間	→	1 2 3 4 5	
★民法・債権	4	618問	125問	6時間			
★民法・親族相続	4	785問	108問	7時間	→	1 2 3 4 5	
・民事訴訟法	4	870問	185問	8時間	→	1 2 3 4 5	
・民執・保全・書士法・供託	8	1,264問	464問	12時間	→	1 2 3 4 5	
★不動産登記法総論	11	1,202問	415問	12時間	→	1 2 3 4 5	
★不動産登記法各論	8	1,108問	370問	11時間	→	1 2 3 4 5	
★商業登記法	8	1,425問	312問	12時間	→	1 2 3 4 5	
★商法・会社法	9	1,830問	303問	15時間	→	1 2 3 4 5	
・憲法	3	624問	97問	5時間	→	1 2 3 4 5	
・刑法	4	764問	122問	6時間			
合計		12,269問	2,956問	110時間			

見かけ上の難問答練
2月より毎週1回

書式・添削
左★科目習熟完了が受調条件
不登法、商登法各5回

2010 行政書士

行政書士知識ゼロからの420時間コース

TLTソフトの画期的な機能は、だれでも「画面学習」を進めていくと、そのステップはいつのまにか完全に身につく、さまざまな角度から問われても「瞬時に正答」できるように「完全習熟」することができます。

そして1ステップが完全習熟すると、そのステップは「合格」となって、次のステップに進むことができる仕組みで学習していきます。と、その科目を完全習熟した「証」として、あなた固有の「習熟完了番号」を表示します。さらに全科目すべてに「習熟完了番号」が表示されると、あなたは「行政書士」の問題には80%以上正答できる実力が備わったこととなります。

こうして上の司法書士同様の学習方法で全科目を制覇していきます

e-Learning 63,000円 (従来のCD-ROM版以上の機能)

在宅会員申込書

FAXの方は、拡大コピーをして、そのコピーをご送付ください。新聞広告のままでは真っ黒になり読みとれませぬ。

ご住所	〒		
フリガナ			
お名前		電話	— —
申込科目	<input type="checkbox"/> 司法書士 2010 最速記念セット <input type="checkbox"/> 行政書士 2010 <input type="checkbox"/> 司法書士 2011 基礎からのセット		
メールアドレス			

必ずアドレス欄から、全URLを省略しないで入力してください。

www.newton-jp.com/sh

FAX → 03-5352-7944
電話受付 → 0120-21-6071

受付時間 9時~18時(月~土) インターネットは24時間受付

全国250の拠点代理店でも入会受付をしています。

Newton

株式会社ニュートン 〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-1-1 新宿メインタワー20F

QRコード

■お早めにお申込みください
インターネット、FAX、電話、携帯電話から、お申し込みできます。受付次第、3日前でe-Learningでの「学習の進め方等の説明書」およびID・パスワードを宅配便でお届けします。e-Learningでの学習は、インストールやダウンロードも必要なくカンタンです。

お支払い方法は「現金またはカードでの代引き」です。
カードなら分割払いの回数も指定できます。お届けた際、宅配便会社の配達員に現金、またはカードでお支払いください。
※クーリングオフ・ご入会されて、本ソフトをお受取りされてから10日以内であれば解約ができます。お支払いになった代金の返金はお申し出になりソフト返却確認後2週間程度です。その場合、ソフト等の返却宅配便代金(1,000円程度)はおお客様のご負担となりますので、予めご了承ください。